

- 29.われは一切のことを、天の書に留めている。
- 30.だからあなたがたは（自分の行いの結果を）味わえ。われは懲罰を増加するばかりである。
- 31.本当に主を畏れる者には、安全な場所（樂園）がある。
- 32.緑の園や、ブドウ園、
- 33.胸の脹れた同じ年頃の乙女たち、
- 34.またな・な・と（溢？）れる杯。
- 35.そこではつまらぬ話や偽り言を聞かない。
- 36.これらはあなたの主からの報奨、賜物の決算である。
- 37.天と地、そしてその間の凡てのもの主、慈悲深き御方（からの賜物であり）、誰もかれに語りかけることは出来ない。
- 38.聖霊と天使たちが、整列して立つ日、慈悲深き御方から御許しを得て正しいことを言う者以外には、誰も口をきくことが出来ない。
- 39.それは真実の日である。だから誰でも望む者は、主の御許に戻るがいい。
- 40.本当にわれは、懲罰が近いと、あなたがたに警告した。その日、Iは、自分の両方の手が前もって行ったもの（所業）を見るであろう。不信者は、「ああ、情けない、わたしが塵であったならば。」と言うであろう。

## SURA 79.引き離すもの章〔アン・ナーズィアート〕

慈悲あまねく慈愛深きアッラーの御名において。

- 1.荒々しく（罪深い者の魂を）引き離すものにおいて（誓う）、
- 2.優しく（信仰深い者の魂を）引き出すものにおいて、
- 3.泳ぐように（慈悲の使いに）滑走するものにおいて、
- 4.先を争って前進するものにおいて、
- 5.（主の命令で）事を処理するものにおいて（誓う）。
- 6.その日（第一のラッパで）、震動が（凡てのものを）揺がし、
- 7.次のラッパ（で震動）が、続く。
- 8.（不信者の）心は、その日戦き震え、
- 9.目を伏せるであろう。
- 10.かれらは言う。「わたしたちは初め（生前）の状態に、本当に返るのでしょうか。
- 11.何と、わたしたちは朽ち果てた骨になってしまったのに。」

- 12.かれらは言う。「その場合（復活）、損な戻りです。」
- 13.（復活は）、只一声の叫びである。
- 14.見よ、かれらは目覚めて（地上に）現われる。
- 15.ムーサーの物語が、あなたに届いたか。
- 16.主がトワーの聖谷に、かれを呼ばれた時を思い起せ。
- 17.（かれは仰せられた。）「あなたはフィルアウンの許に行け。本当にかれは目にあまる者である。
- 18.そしてかれに言ってやるがいい。『あなたは（罪から）清められたいのか。
- 19.わたしはあなたを、主の御許に導く。あなたは（かれを）畏れなさい。』」
- 20.（ムーサーは）偉大な印をかれに示した。
- 21.だがかれ（フィルアウン）はそれを嘘であるとし、（導きに）従わなかった。
- 22.背を向けて急いで去った。
- 23.かれ（フィルアウン）は、（その民を）集め宣言して、
- 24.言った。「わたしはあなたがたの主、至高者である。」
- 25.そこでアッラーはかれを懲しめ、来世と現世の生活に懲罰を加えられた。
- 26.本当にこの中には（主を）畏れる者への一つの教訓がある。
- 27.あなたがたは（かれが）うち建てられた天（の創造）が、あなたがたを創ることより難しいとでも思うのか。
- 28.かれはそれを高く掲げ、それから整え、
- 29.夜を暗くさせ、また、光明を現わされる。
- 30.その後、大地を延べ広げられた。
- 31.そこから水と牧場を現われさせ、
- 32.また山々をそれにしっかりと据えられ、
- 33.あなたがたとあなたがたの家畜のための、用益に供される。
- 34.それで大きい災厄が来ると、
- 35.その日、人々は（現世で）その努力したことを思い出し、
- 36.また獄火は、誰でも見る（程の）者に（ありありと）現わされる。
- 37.その時、酷く目にあまった者、
- 38.またこの世の生活を重んじていた者は、

- 39.本当に火獄がその住まいであろう。
- 40.だが主の御前に立つことを恐れた者、また低劣な欲望に対し（自分の）魂を抑制した者は、
- 41.本当に樂園がその住まいであろう。
- 42.かれらはその時に就いて、あなたに問う。「それが到来するのは、何時（の日）ですか。」
- 43.あなたは、何によってそれを告げられようか。
- 44.その終末（の知識）は、あなたの主にあるだけ。
- 45.あなたは、それを恐れる者への、一人の警告者に過ぎない。
- 46.かれらがそれを見る日、（墓の中に）滞留していたのは、一夕か一朝に過ぎなかったように思うであろう。

## SURA 80.眉をひそめて章 [アバサ]

慈悲あまねく慈愛深きアッラーの御名において。

- 1.（ムハンマドは）眉をひそめ、顔を背けた。
- 2.一人の盲人がやって来（て話が中断され）たためである。
- 3.あなたにどうして分ろうか、かれは清められるかも知れないことが。
- 4.または訓戒を受け入れて、その教えはかれを益するかもしれないことが。
- 5.だが何の助けもいない者（財産家）には、
- 6.（関心をもって）応待する。
- 7.しかもかれが自ら清めなくても、あなたに責任はない。
- 8.だが熱心に（信仰を）求めてあなたの許に来た者で、
- 9.畏敬の念を抱いている者には、
- 10.あなたは軽視した。
- 11.断じてそうであるべきではない。本当にこれ（クルアーン）は訓戒である。
- 12.だから誰でも望む者には、訓戒を念じさせなさい。
- 13.それは（アッラーの御許にある）帳簿に記されているもの。
- 14.至高にして清純なもの。
- 15.書記たち（天使）の手で（記録されたもの）。
- 16.気高く敬虔な（書記たち）。
- 17.人間（不信心者）に災いあれ。何とかかれは忘恩なことよ。